

7月15日～8月15日は見直し摘果強化期間となります。

特に、早生種は収穫まで約1ヵ月となりましたので、着果量の見直しを急ぎましょう。

## 1、りんごの肥大状況

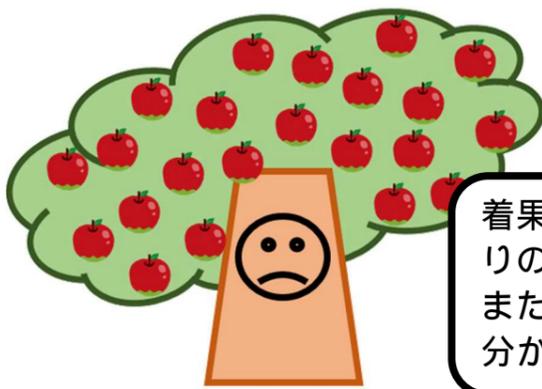
7月11日現在の果実肥大は、各品種で平年を上回る結果となりました。

単位：cm

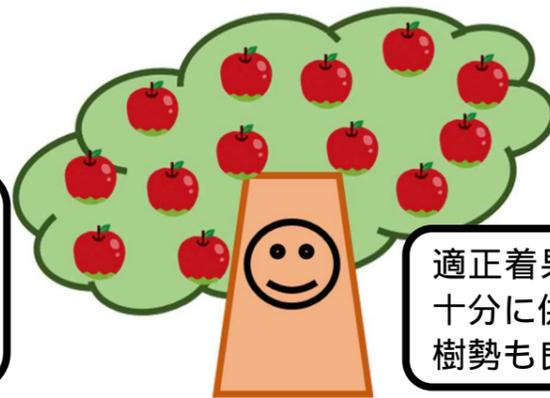
地点	つがる	ジョナゴールド	王林	ふじ
新和（平場）	6.1	6.1	5.0	5.4
鬼沢（中間）	5.6	5.8	5.1	5.3
三和（中間）	6.3	6.4	5.9	5.8
十腰内（山手）	6.1	5.6	5.1	5.5
農協平均	6.3	5.9	5.6	5.5
平年比	115%	109%	112%	117%

## 2、摘果作業

今年も夏場の高温が予想されています。過着果は日ヤケ果や着色の他、来年の花芽形成にも影響しますので、適正着果を心がけ、収穫の早い早生種から、随時みなし摘果を進めましょう。



着果量が多いと、りんご1個あたりの養分は少なく、品質が低下。また、樹体、花芽形成に十分な養分が供給されなくなります。



適正着果にすると、養分が十分に供給され、花芽形成、樹勢も良好になります。

## 3、薬剤散布

散布時期 （散布日の目安）	対象病害虫	薬剤名 及び混合順序	倍数	1000 当り薬量	防除上の注意
10回目 7月末 （7月29日頃）	黒星病・褐斑病・炭そ病 斑点落葉病・すす斑・すす点病 珛シツクイガ・ハダニ類 ナシヒメシツクイガ・キンモンハクダリガ	ダイパワー水和剤 ダントツ水溶剤	1,000倍 4,000倍	1kg×1袋 250g×1本	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハダニの発生予察を行い、発生が早い場合は殺ダニ剤の早期散布を検討しましょう。</li> <li>アリエッティCは最後に混用しましょう。</li> <li>散布間隔は15日以内とし、降雨が予想される場合は、前倒して散布してください。</li> </ul>
11回目 8月半ば （8月12日頃）	黒星病・斑点落葉病・褐斑病 炭そ病 珛シツクイガ・ハダニ類 ナシヒメシツクイガ・キンモンハクダリガ	オリオン水和剤 殺ダニ剤 アリエッティC水和剤	1,000倍 800倍	500g×2袋 1.25kg×1袋	
12回目 8月末 （8月26日頃）	斑点落葉病・炭そ病・輪紋病 すす病・褐斑病・黒星病 珛シツクイガ・ハダニ類 ナシヒメシツクイガ	ダイパワー水和剤 イカズチWDG	1,000倍 1,500倍	1kg×1袋 333g×2袋	
13回目 9月半ば （9月9日頃）	すす斑・すす点病 モモシツクイガ ナシヒメシツクイガ	オーソサイド水和剤 デリゲートWDG	800倍 10,000倍	1.25kg×1袋 100g×1袋	

### 農作業中事故の防止について

気象庁の1ヵ月予報では気温が平年並みから高い予報となっております。農作業中の事故には十分注意し、作業を行いましょう。

